

第1学年 学級活動(2) 指導案

令和3年11月9日(火) 教室
(ティームティーチング)

1 題材名 しっかりたべてげんきにすごそう

学級活動内容(2) エ 食育の観点を踏まえた学校給食と望ましい食習慣の形成

2 題材について

(1) 児童の実態

非常に明るく、元気な学級である。毎日の給食は児童の楽しみであり、今日の給食は何かよく話題に上がっている。しかし、好き嫌いが激しい児童が多くいる現状もあり、給食での残量は少ないとは言えない。

アンケート(内容省略)の結果から、食べ物の中でも野菜が嫌いな児童が半数いることが分かった。また、それとは対照的に、肉が好きな児童は91%もいることが分かった。給食時の様子を見てみると、肉だけ食べ、一緒に入っている野菜を残す児童をよく見る。更に、野菜が入っているというだけで、一口も食べようとしない児童も少数存在する。また、嫌いな食べ物のほとんどが野菜の名前であることから、野菜嫌いが多いことが伺える。

(2) 題材設定の理由

そこで本時の学習では、バランスよく食べることの重要性を、楽しく分かりやすく示し、どうして好き嫌いしてはいけないのかを実感させたい。本時の展開では、バランスよく食べられているかどうかをすぐに分かるよう、食材を積み重ねてできた船で表現する。その船の大きさや各栄養素のバランスをみて、自分の食事の実態を知ることにつなげる。実態を把握した上で、バランスよく食べることの重要性を学び、自分の食事の課題を見出させたい。また、給食だけでなく朝昼晩どの食事でもバランスよく食べ、よりよい生活を送りたいという意欲につなげていく。

3 研究主題との関わり

【研究主題】

主体的・対話的に学び合い、考えを深め合える児童の育成
－「食べる力」＝「生きる力」食育を通して生き生きと生活できる力を育む－

【目指す児童像】

- ・食べることを大切にする子
- ・健康的な食事ができる子(バランスよく食べる子)

〈手立て1〉各教科を通して、食を大切にす指導の工夫

⇒しっかり食べることが、学習や運動等にも大きく影響することを実感させる場を設定した。

〈手立て2〉栄養教諭やゲストティーチャーを活かした専門的な指導

⇒栄養教諭による、専門的知識を活かした指導の場を設定した。

〈手立て3〉食を身近に感じさせるための、校内掲示や家庭への啓発の工夫

⇒・単元を通して、食を身近に感じさせる掲示物を作成し、教室内に掲示した。

・完食しようとする意欲を向上させることをねらいとした「もりもりの木」を掲示した。

4 題材の目標

○食事のマナーを身に付ける。

○食べ物の働きによって3色に分けられることが分かる。

○バランスよく食べることの大切さが分かる。

5 評価規準

	よりよい生活を築くための知識・技能	集団や社会の形成者としての思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度
題材の評価規準	<ul style="list-style-type: none">・基本的な食事のマナーを理解している。・「黄」の栄養や働きと、黄の食べ物を理解している。・「赤」の栄養や働きと、赤の食べ物を理解している。・「緑」の栄養や働きと、緑の食べ物を理解している。	<ul style="list-style-type: none">・なぜ食事のマナーを身に付けなくてはならないのかを考えることができる。・バランスよく食べることについて考え、何でもよく食べようとしている。	<ul style="list-style-type: none">・元気に生活するために、栄養に気を付けて食べようとしている。・バランスのよい食事を知り、今後の食事意識して食べようとしている。

6 指導と評価の計画（省略）

7 本時の学習

(1) 本時のねらい

・バランスよい食事を知り、今後の食事意識して食べることができるようにする。

(2) 食育の視点



・食事の重要性、食事の喜び、楽しさを理解する。

【食事の重要性】

・心身の成長や健康の保持増進の上で望ましい栄養や食事のとり方を理解し、自ら管理していく能力を身に付ける。

【心身の健康】

(3) 展開

段階	児童の活動	指導上の留意点		教材・資料	◎ 目指す児童の姿 【観点】(評価方法)
		T 1 (学級担任)	T 2 (栄養教諭)		
導入 (7分)	1 前時の振り返りをする。 2 本時の学習の課題を考える。	<ul style="list-style-type: none"> 楽しく学習が始められる雰囲気作りのために、「えいようのうた」を歌う。 担任の朝ごはんのカードを重ねて船の形にして掲示する。 		<ul style="list-style-type: none"> モニター 食べ物カード 	
<p>「もりもりごう」をすすめるにはどうしたらいいか、かんがえよう</p>					
展開 (24分)	3 給食を3色の栄養に当てはめる。 4 今日の給食で食べられなかったもののカードを抜く。	<ul style="list-style-type: none"> 今日の給食の船を隣の人と確認し合いながら作る。 → 3色の栄養の掲示物や、「えいようのうた」をヒントに考えさせる。 全てのペアが完成したら正解の形を掲示する。 作った船の中から、食べられなかったものを抜き、自分がどれくらいバランスよく食べられているか確認させる。 船は自分の身体であることを再確認し、自分の身体に影響があるということを説明する。 	<ul style="list-style-type: none"> 今日の給食の説明をする。 船の色別の役割を、体と結びつけて説明する。 給食は完食すると、3色の栄養がバランスよく摂れることを説明する。 	<ul style="list-style-type: none"> 給食の食べ物カード 磁石ボード モニター 	<p>◎ バランスよく食べることの大切さについて考え、何でもよく食べようとしている。</p> <p>【思・判・表】 (発言・観察)</p>

終末 (14分)	5 今日の学習のまとめをする。	「もりもりごう」をすすめるには、すききらいせずになんでもたべることがたいせつ		・ワークシート	◎ バランスのよい食事を 知り、今後の 食事で意識 して食べよ うとしてい る。 【態】 (ワークシ ート・発言)
	6 振り返りをする。	・学習を振り返り、これからがんばりたいことを書かせる。			

8 事後の指導

児童の活動	指導上の留意点	◎目指す児童の姿 【観点】(評価方法)
自分の立てためあてや取組を振り返る。	<ul style="list-style-type: none"> 給食のすぐ後に、取り組みを確認する時間を設け、実践の継続を図るようにする。 児童のめあてや取組を保護者に伝え、コメントをもらうことで、家庭での食の関心を高める。 	◎バランスのよい食事を知り、今後の食事で意識して食べようとしている。 【態】(ワークシート)

9 板書計画

「もりもりごう」をすすめるには
どうしたらいいか、かんがえよう

みどり

あか

きいろ

朝ごはん
で作った
船

のこすと

「もりもりごう」をすすめるには、すききらいせずになんでもたべることがたいせつ

10 ワークシート

< しっかりたべて げんきにすごそう >

くみ ばん なまえ()

【みどり】
- いらぬものを直す
- びんうきになりにくくする

【あか】
- きんにく、は、はねをつくる

【きいろ】
- 秋はきからに作る

【きょうがわかったこと、きづいたこと】

【おうちからお話を聞いて】

